

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

I 4年生での取組

児童に、自分たちを取り巻く環境が、どのような状況にあるのかを考えさせるとともに、さらに環境問題についての関心を高め、自分たちにもできる活動を模索してほしいと考え、「ぼくら、エコレンジャー」をテーマに、環境問題を中心としたESDについて取り組んだ。

①水質汚染について

社会科の「水はどこから」の学習計画に合わせて、尾張西部浄水場へ見学に行き、木曽川の水がどのような過程や人の力を経て、飲み水になっているのかを学んだ。

浄水場では、水のいやなにおいや汚れを取るために、活性炭やポリ塩化アルミニウム(PAC)という薬を使うなど、さまざまな工夫がされていることを学んだ。そして、実際、PACによって汚れを取る凝集実験を体験した。実験は、ビーカーに入っている濁った水にPACを入れ、すばやく均一にかきまぜて、PACと汚れを結合させながら塊としてビーカーの底に沈めていくというものであった。PACを入れる前と比べ、実験後の水は、透明度が増し、児童は「きれいになった」と実感していた。

児童は、浄水場の施設を見学することで、水がさまざまな過程を経て少しずつきれいになっていくことが理解できた。また、浄水場の方の話聞く中で、自分たちが飲んでいる木曽川の水に関心をもち、木曽川の水をきれいにしていきたいという思いをもつことができた。

②ごみ問題について

ア 一宮市環境センター見学

社会科の「ごみの処理と利用」の学習計画に合わせて、一宮市環境センターへ見学に行った。絶えず市内からごみを運ぶ収集車の様子や、ごみピットにたまった大量のごみを見て、児童は、ごみを減らす必要性とリサイクルの大切さについて考えることができた。

イ 古紙回収業者「金光」見学

地域にある資源回収業者へ見学に行った。ここには、資源回収で集められた新聞紙や缶、ペットボトルなどが運ばれている。自分たちの家から出された資源が、それぞれリサイクルするために選別されている様子を見ることで、リサイクルの大切さを実感していた。

ウ 製紙工場「王子マテリア株式会社祖父江工場」見学

古紙から白板紙や段ボール原紙を生産している王子マテリア祖父江工場へ見学に行った。ここでは、古紙回収業者などから集められた雑誌や段ボールなどの古紙が、1日に1,200tも運ばれ、それらがさまざまな工程を経て、新しく紙として生まれ変わる様子を見学できた。リサイクルの大切さを学ぶとともに、リサイクル製品を使うことも大切だということも学んだ。

③地球温暖化について

児童が育てたツルレイシで「緑のカーテン」を作り、その効果を考える活動を行った。気温が30℃を越す暑い日に、緑のカーテンの後ろ側と緑のカーテンがないところでは、気温に差が出るのかを温度計を使って測定した。児童は、緑のカーテンがある方がとても涼しく感じるとともに、気温の差が1.5℃あるとの結果を得ていた。そして、この体験から、地球温暖化への対策として、緑のカーテンの果たす役割を理解した。

④学習発表会への取組

これまで児童が調べたり、見学して学んだりしたことについて、学習発表会で発表をした。同じ環境問題を課題とする小グループに分かれて台本をつくり、自分たちに何ができるか考え、劇や歌を交えながら地域の人に伝えた。

II 全校での取組

本校では、全校的な環境への取組として、エコスクール運動、クリーン作戦、PTA資源回収の各活動を行っている。いずれの活動も、児童にごみ問題や資源について考えさせる大切な機会であり、活動となっている。

①エコスクール運動参加

エコスクール運動は、学校生活の中で、資源の有効利用や環境負荷の軽減などによって「地球にやさしい学校づくり」を目指した運動であり、一宮市の環境部が中心となり、企画しているものである。本校の常時活動として、昇降口に牛乳パックやペットボトルキャップの回収箱を置いたり、各教室には、古紙の回収箱を置いたりするなど、エコ活動に取り組んでいる。また、美化委員会では、「省エネルギー」、「省資源・リサイクル行動」について、行動計画書を作成し、委員会活動に取り組んだ。電気や水のむだづかいをなくすように、節電や節水を呼びかけるポスターやラベルを貼ったり、各教室から集まってくる生活ごみを分別したりした。児童集会では、古紙の回収状況を棒グラフに表して、全校児童に向けて発表した。

②クリーン作戦の実施

クリーン作戦は、毎月第2木曜日と金曜日に実施され、児童は登校時に、集合場所や通学路にあるごみを拾いながら登校している。ペットボトルや空き缶、紙くずなど拾ってくるごみは多様である。昇降口に集まってきたごみは、美化委員が燃えるごみと燃えないごみに分別をする。クリーン作戦は、月に2日間の実施であるが、児童が主体的にごみを拾ってきれいにすることで、自分たちの地域を大切に、美しくしていこうとする気持ちを育てる大切な活動である。

③PTA資源回収参加

PTA資源回収は、1年間に3回実施している。PTA地区委員が地域の各家庭の資源を回収し、学校に搬入している。学校では、PTA役員や児童、教職員が資源の分別を行っている。毎回、多数の児童が自主的に参加し、夏の暑い時も、冬の寒い時も汗いっぱいになって保護者と一緒に活動している。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）